



石部棚田

ISHIBU TANADA

静岡県



駿河湾と富士山・南アルプスを望む
人々の力によりよみがえった棚田

棚田めぐり



秘境度



市街地からの所要時間を★の数で表しています。
詳細については、右記のQRコードから

棚田カードの配布場所
その他詳細はコチラから



伊豆半島西岸、松崎町に位置する石部棚田は、東日本に位置する棚田には珍しく石積みで築かれています。その強固な造りは先人から託された、貴重な文化遺産でもあり、代々受け継がれてきたものです。しかし昭和40年代から地域に押し寄せた観光ブームや減反政策、交通網の発達による平地耕作への移行に伴い、生産性が低く作業が困難な棚田は徐々に荒廃し、昔ながらの風景は急速に失われていきました。そして平成10年ごろには、棚田で米作りをする農家は3~4戸だけとなり、耕作放棄率90%以上の山林原野となってしまいました。

そこで地区住民が立ち上がり棚田を核とした地域づくりが始まりました。地元住民をはじめ行政、ボランティアも加わり棚田を復田し、昔ながらの棚田の原風景がよみがえりました。その努力は現在も受け継がれ、眼下に広がる駿河湾、晴れた日には富士山と南アルプスを望む「石部棚田」は、「棚田オーナー・トラスト制度」により、手作業による畦塗りや田植え、稲刈り、はざ掛けなどの伝統的な農作業を楽しむことのできる棚田として、多くの人々の交流が進んでいます。

地域で取り組まれている保全活動

石部棚田では、田植え、稲刈りを基本に一年を通して棚田の活動を体験する「オーナー会員」と棚田の保全や景観の保持、定期的な作業参加は難しいけれど自然環境の維持復元に対して支援したい方向けの「トラスト会員」を募集しています。詳しくは「**石部棚田へ行こうよ**」HPをご覧ください。



「石部棚田へ行こうよ」HP



イベント情報

毎年5月下旬、田植えが終わった田んぼで「石部の灯り」が行われます。昔、石部は「石火」と呼ばれ、火を燃して海上交通の目印とするなど火に縁のある地区でした。旧地名にちなんで田んぼの畦にろうそくを灯し、幻想的な棚田の風景を作り出します。12月～翌2月にかけては、LEDライトによるイルミネーションも行われます。また、11月には、棚田をステージに行われる音楽祭や物産などが楽しめる「棚田 Fes」も行われます。

アクセス情報

住所：静岡県賀茂郡松崎町石部

公共交通機関

伊豆急下田駅またはJR三島駅、伊豆箱根鉄道修善寺駅よりバスで松崎、松崎から乗り換え石部温泉で下車、棚田までは徒歩

自動車

東名高速道路沼津ICより国道136号線
約1時間45分



年間イベント・行事

- 5月中旬 田植え祭
- 5月下旬 石部の灯り
- 7月上旬 石部温泉大地曳き綱まつり
- 10月上旬 収穫祭
- 11月中旬 棚田 Fes (音楽祭)
- 12～2月 石部の灯り
～ウィンター
イルミネーション～



＼一押し情報／

なまこ壁のある街並み

TEL .0558-42-0745 (松崎町観光協会)

「国指定重要文化財 岩科学校」や「なまこ壁通り」など、漆喰の伝統的な技による建造物は「日本の原風景」を感じさせます。

三浦(岩地、石部、雲見) 海岸と温泉

TEL .0558-42-0745 (松崎町観光協会)

美しく多彩な岩地、石部、雲見の海岸は「名勝 西伊豆海岸」に指定され、豊かな海の幸と温泉が楽しめる民宿が多くあります。

永楽堂の「百笑一喜まんじゅう」

TEL .0558-42-0270

石部棚田産黒米・赤米の「百笑一喜まんじゅう」がもっちりとした食感で人気、町内では他にも棚田米の特産品があります。



有



有

(駐車場・石部の棚田展望台)



お問い合わせ先 松崎町役場 企画観光課 TEL 0558-42-3964

棚田訪問の3原則

- 農作業の迷惑にならないようにしましょう!農家の方には挨拶を!
- 棚田の畔道や水路は農家の命!勝手に入らないように!
- 写真撮影やSNSへの投稿には最低限のマナーを守ろう!

#棚田に恋で
SNSに投稿を
お願いします!!